

第5節 産業振興課

〔総括概要〕

今日の農業は、農業者の高齢化の進行、後継者不足による農家数の減少と共に、食料自給率の低迷、耕作放棄地の拡大等が進展し、農村の活力の低下など、農業を取巻く環境は非常に厳しい状況が続いている。そのため農業振興においては、土地利用型農業の推進と園芸作物の生産振興やPR等を実施した。担い手不足や耕作放棄地対策としては、地域農業担い手組織の育成事業により集落営農を推進した。また、産業祭の開催により生産者と消費者の交流を図った。さらに、県産農産物安全安心PR事業により消費拡大を図った。

林業は、地域の里山林の整備のため、県民税事業による藪の刈払いや、不用木の処分を行った。

農業農村整備については、県営基幹水利施設ストックマネジメント事業をはじめ、県単独農業農村整備事業や市単独かんがい排水事業等により、施設整備及び維持修繕を進め農業用排水路の適正管理に努めた。農地・水保全管理事業では、藤岡地域緑川地区で、地域の環境保全や施設の維持管理に地域住民が一丸となって取り組んだ。

また、農地、農業用施設及び住宅の湛水被害を防止しするために、西前原排水機場の維持管理及び運転を行ったほか、土地改良区事業により整備された排水機場の維持管理事業を実施した。

地籍調査事業については、法務局備え付けの公図が明治時代の地租改正時に作られたものであり、土地の境界、形状などが現況とは違う場合があることから、国土調査法に基づき一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界と面積の測量を行い正確な地籍簿、地籍図を作成した。これにより、その後の土地取引の円滑化や行政の効率化に役立つことが期待される。

道の駅みかもについては、「休憩機能」「情報発信機能」「地域の関係機能」という3つの機能を併せ持つ施設であることから、地域情報等の発信に努め、農産物の高付加価値化と消費拡大による地域農業の所得向上を図り、かつ地域内の女性・高齢者の活躍の場を設け、都市及び地域住民が集い交わることにより、地域全体の活性化を図った。

商業関係については、中心市街地の空洞化や商業経営の低迷が大きな問題となっていることから、藤岡町商工会への育成事業補助金と（社）栃木法人会藤岡地区会育成事業補助金を交付した。

観光関係については、恵まれた自然環境と豊かな観光資源を有効に活用し、各種宣伝事業をはじめ、「第18回藤岡さくらまつり」、「渡良瀬バルーンレース2012」、などのまつり・イベントの開催に積極的に取り組んできた。

また、渡良瀬遊水地は平成24年7月に、世界的に重要な湿地としてラムサール条約湿地に登録され、多様な動植物が生殖する自然の宝庫として知られ、熱気球などのスカイスポーツや各種レジャーの場として幅広く利用されているほか、四季折々の

景色の撮影に県内外から多くの観光客が訪れ、みかも山公園と合わせて都会のオアシスとして定着している。

農林振興担当

1 戸別所得補償モデル対策

食料自給率の向上を図るとともに、農業の有する多面的機能が将来にわたって適切かつ十分に発揮されるようにする必要があるため、戸別所得補償制度の導入により、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整え、地域農業の活性化を図った。

(1) 米のモデル事業

藤岡地域に提供された平成24年産米に係る需要情報は4,454トンであり、米の需給均衡と価格の安定を目的として、栃木市藤岡町水田農業推進協議会と連携し、農業者及び農業者団体と一体となった生産調整推進の取組を行った。

・水稲生産確定数量・面積及び作付実績

対象農業者数	1,639人
水稲生産実施計画書提出農業者数(①)	1,535人
生産確定数量の計(①の積算)	4,444,660kg
作付確定面積(①の積算)(②)	85,638.9a
主食用等水稲作付面積の計(①の積算)(③)	78,676.5a
差引(②-③)	6,962a
水稲生産確定面積に対する主食用等水稲作付面積の割合(③÷②)	91.8%

(2) 水田活用の所得補償交付金

・戦略作物作付面積(交付対象面積) (単位:ha)

麦類	512.9
大豆	18.1
そば	0.6
飼料作物	22.6
新規需要米・加工用米	182.4

(3) 推進会議の開催

米政策改革及び関連対策の円滑な推進と農業者への情報提供を図るため、栃木市藤岡町水田農業推進協議会との連携により推進会議を開催した。

・会議の開催状況 (単位:人)

開催日	参加者数
5月16日(水)	73
6月28日(木)	71

2 農業経営基盤強化促進事業

経営改善支援活動事業

栃木市担い手育成総合支援協議会において、認定意向のある農業者に対する認定農業者制度の説明や、経営改善に関する個人指導会の開催、担い手に対する施策や研修等の情報提供などを実施した。

- ・農業経営改善計画認定者数 8人

3 集落型経営体の育成

将来にわたって地域農業を担う集落営農組織を育成するとともに、持続性の高い農業経営を实践定着させるための集落営農組織の法人化を推進するため、実施主体である下野農業協同組合と連携して研修会を開催した。 (単位：人)

実施年月日	研 修 先	参加人数
2月19日(火)	大田原市 農事法人組合グリーンリーフのざき	20

4 農業団体育成事業

本市農業の振興と地域社会の発展に寄与することを目的に、各種農業団体の指導、育成及び支援を行った。

(1) 栃木市藤岡町認定農業者協議会補助金

相互連携を図り、効率的で安定した魅力ある農業経営、自らの経営改善の実践と藤岡地区の農業振興のために活動を行っている認定農業者協議会に対して、助成を行った。

- ・補助額 260,000円

(2) 生産出荷組合補助金

地域内11の生産出荷組合の運営に対して助成を行った。

- ・補助額 126,000円

(3) 営農集団運営管理費補助金

富吉第一営農集団の運営に対して助成を行った。

- ・補助額 20,000円

(4) 藤岡町農業公社補助金

藤岡町農業公社の人件費及び運営管理に対して助成を行った。

- ・補助額 10,068,000円

5 ふじおか産業祭事業

地域の農商工が連携し、地域の活性化と振興に寄与することを目的としたふじおか産業祭を開催した。

- ・実施日 11月24日(土)、25日(日) 午前9時～午後3時
- ・会場 藤岡総合体育館・藤岡遊水池会館駐車場
- ・来場者 11,180人

6 畜産振興事業関係

栃木市畜産振興協議会

畜産農家が連携し、家畜伝染病の疾病による損耗を防止し、畜産経営の安定を図ることを目的に畜産振興事業を実施した。

- ・事業主体 栃木市畜産振興協議会
- ・事業内容・各種予防接種の実施（牛コロナ予防接種、オーエスキー予防接種）
- ・石灰及び消毒薬の配付

7 藤岡農産加工センター管理運営事業

地域農村のコミュニティづくりのため、藤岡農産加工センターの運営を行った。

- ・利用状況

利用団体	利用日数（日）	利用人数（人）	備考
藤岡町農産加工技術協力員会	17	102	菓子づくり
藤岡町農村生活研究グループ協議会	57	268	みそづくり
合計	74	370	

8 わたらせふれあい農園管理運営事業

農園を低料金で貸出し、自然とふれあいながら農作業を行うことにより野菜に対する消費者の目を養い農業を知る機会を提供する農園の運営を行った。

- ・利用者数 21人 貸出区画 44区画

9 とちぎの元気な森づくり推進交付金事業

平成20年度から元気な森づくり推進市町村交付金事業に取り組み、荒廃した里山の整備を実施している。

- ・事業概要

事業名	実施箇所	事業量	事業概要及び事業費	備考
通学路や住宅周辺の安心・安全確保のための里山林整備	藤岡町大田和地内（道の駅みかも周辺の山林）	1.0ha	藪化した里山林の刈払い等により野生獣が人里に近づきにくい環境を整備 事業費：237千円	事業主体：市

10 森林整備加速化・林業整備基金事業

平成21年度から森林整備加速化・林業整備基金に取り組み、荒廃した里山の管理を実施している。

- ・事業概要

事業名	実施箇所	事業量	事業概要及び事業費	備考
修景等環境保全	藤岡町大田和地内（道の駅みかも周辺の山林）	3.0ha	伐倒駆除、林内美化活動 事業費：147千円	事業主体：市

11 火入許可

病虫害駆除を目的としたしば焼等について、栃木市火入れに関する条例に基づき許可した。

- ・許可処理件数 1件

12 農業委員会関係

農業委員会事務の円滑な推進と併せて地域農業者への利便を図るため、証明発行等の事務を行った。(単位：件)

件 名	件 数
耕作証明書	58
農家証明書	1
農家基本台帳の写し	14
合 計	73

13 土地改良事業補助金

農業生産性の維持向上のため農業生産基盤整備に係る事業を行う土地改良区に対し支援をした。(単位：円)

事業名	土地改良区（箇所） 工 事 内 容	事業費	補助額
県単独農業農村整備事業	藤岡土地改良区（蛭沼地区） さく井工、揚水機工	12,763,800	7,018,000 内市負担額 (2,552,000)
農業体質強化基盤整備促進事業	思川西部土地改良区（新波地区） 農業用水路 L=200m	3,700,200	370,000
	藤岡土地改良区（部屋南部地区） 農業用水路 L=250m	5,141,850	514,000
市単独土地改良事業（かんがい排水）	藤岡土地改良区（部屋南部地区） 揚水樋管導水路堆積土撤去工	189,000	37,000
	藤岡土地改良区（巴波川西部地区） 農業用水路 L=80m	630,000	126,000
	大岩藤土地改良区 ・揚水機場修繕（都賀地内） ・分水バルブ交換（大田和地内）	1,081,500	216,000
	藤岡土地改良区（江川地区） 揚水機場更新 1か所	1,631,000	326,000

14 県営土地改良事業負担金

県が実施する土地改良事業に係る法定負担金（受益者負担金）を支出した。

- ・事業名 県営基幹水利施設ストックマネジメント事業
- ・事業箇所 佐野市地区（界排水機場）
- ・事業内容 機場（排水機）工1式
- ・事業期間 平成22年度から平成25年度
- ・負担額 395,960円

15 農道維持管理事業

（単位：円）

工事名	工事箇所	工事内容	工事費
農道維持補修工事	部屋・富吉・中根	敷砂利工 L=582m t=7cm W=1.8m～2.5m	892,500
	赤麻・大前・大田和・藤岡	敷砂利工 L=415m t=7cm W=1.8m～2.5m	630,000

16 農地・水保全管理事業

非農業者も含めた地域住民の共同による農地・農業用水等の保全管理と農村環境向上等の活動に対し支援をした。

- ・共同活動支援

（単位：円）

活動組織名	協定期間			基礎支援				金額計
	締結年度	終了年度	交付期間	田 (825円/10a)		畑 (525円/10a)		
				面積(a)	金額	面積(a)	金額	
水と緑の里みどりかわ	H19	H28	10年	4,341	358,133	227	11,917	370,050

17 藤岡排水機場維持管理補助金

土地改良事業により整備された排水機場について、効率的運営により地域内における生活の安全安心並びに農業生産の維持及び増進を図るため、維持管理に要する経費の一部を補助金として交付した。

- ・対象地区 藤岡土地改良区（部屋南部地区、巴波川西部地区、新井地区、東谷津地区）
- ・補助額 1,693,195円

18 排水機場維持管理負担金

農業用施設及び住宅の湛水被害を防ぐため、土地改良事業により整備された排水機場の維持管理に要する経費の一部を、負担金として関係市町等に支出した。（単位：円）

支出先市町等	対象施設	負担金
小山市	与良川水系排水機場	1,616,000

佐野市	界排水機場	178,387
板倉町	邑楽東部第一排水機場	121,000
渡良瀬川中央地区 水管理施設管理協議会	渡良瀬川中央地区水管理施設	43,200

19 西前原湛水防除事業

栃木市及び岩舟町にまたがる農地、農業用施設及び住宅の湛水被害を防止し、農業経営の安定を図るため、西前原排水機場の維持管理及び運転を行った。

- ・ 運転回数 1回（4日間）
- ・ 総運転時間 59時間29分
- ・ 事業費 5,494,031円

20 地籍調査事業

国土調査法に基づき、一筆ごとの土地について所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び面積に関する測量を行い、地積図、地積簿を作成した。

業 務 名	実施地区	業務概要	委託費(円)
部屋16地区 地積測定・複図作成業務	中根西原 22ha	地積測定及び計算 一式 複図作成15面×2部 30枚	294,000
部屋17地区 地籍測量業務	富吉西 24ha	地積図根測量 一式 地籍細部測量 一式	2,205,000
部屋18地区 事前調査業務	中根六人 内 42ha	調査図素図作成 一式 地籍調査票作成 一式	1,081,500
部屋10地区 境界杭復元業務	富吉戸崎 0.1ha	多角測量 一式 境界再現測量 一式	105,000
部屋17地区 土地改良区域境界復元業務	富吉西 1.2ha	補助基準点測量 一式 境界再現測量 一式	630,000
部屋7, 13, 14地区 点検測量・座標変換業務 (H23繰越)	蛭沼・富吉 ・中根 110ha	点検測量 一式 座標変換 一式	3,955,350
部屋7, 13, 14地区 原図修正業務 (H23繰越)	蛭沼・富吉 ・中根 110ha	座標変換後原図作成 73枚	714,000

21 道の駅みかも管理運営事業

(1) 売上等実績

売店名	客 数 (人)	売上額 (円)
農産物直売所「万葉の里」	192,253	209,247,083
物産館「こならの里」	93,501	84,928,810

農産物加工販売室「かあさんの台所」	27,328	12,139,840
地域食材供給室「レストランしもつけ」	74,420	56,058,720
計	387,502	362,374,453

(2) 主なイベント

イベント名	開催日
七夕の飾りつけ	6月29日(金)～7月8日(日)
夏まつり	8月5日(日)
オールタイムランみかも 2012	10月21日(日)
お客様感謝祭	11月10日(土)・11日(日)
みかも山ウオーク	11月23日(金)

(3) 視察の受入：5団体

団体名	視察日	視察目的
藤岡小学校3年生	6月1日(金)	社会科見学
赤麻小学校3年生	6月12日(火)	施設見学
三鴨小学校3年生	7月6日(金)	社会科見学
道の駅ほっとぱーく・浅科	11月27日(火)	先進地視察
「人の駅・川の駅・道の駅」協議会	12月14日(金)	先進地視察

商工観光担当

1 商業振興

商工団体の育成及び助成

商工会、法人会、たばこ組合等の諸事業に助成を行った。

(単位：円)

名 称	事業費	うち補助額	備考(目的等)
藤岡町商工会育成事業補助金	37,814,551	4,800,000	商工会事業助成
(社) 栃木法人会藤岡地区育成事業補助金	799,272	56,000	法人会事業助成
藤岡町たばこ小売人組合補助金	300,000	24,000	未成年者喫煙防止対策等への補助
合 計	38,913,823	4,880,000	

2 制度融資

経営安定関連保証(セーフティネット保証)認定状況

(中小企業信用保険法第2条第4項第1～8号)

保険法	適用事項	平成24年度	平成23年度	平成22年度
第1号	再生手続申立等関係	—	—	—
第2号	事業活動の制限関係	—	—	—
第3号	地域・業種関係	—	—	—

第4号	地域関係	—	—	—
第5号	業種関係	9	27	60
第6号	破綻金融機関関係	—	—	—
第7号	金融機関経営合理化関係	—	—	—
第8号	RCC譲渡関係	—	—	—
計		9	27	60

3 観光振興宣伝事業

藤岡地域は、四季折々の風景に富んだ広大な渡良瀬遊水地にあるウォータースポーツのメッカとして定着した谷中湖、万葉集に詠まれ自然景観に優れた三轟山を活用したみかも山公園、県内有数のサツマイモの産地など豊かな自然に恵まれている。

これらの観光資源を生かすために、観光パンフレット等を配布するとともに、各種観光キャンペーンを実施し、更に、渡良瀬遊水地の自然の魅力を発見し、紹介することを目的にフォトコンテストを行うなど観光宣伝事業を積極的に展開し、観光誘客に努めた。

(1) 広域観光推進事業

広域観光の充実を図るために、3市3町（栃木市、小山市、下野市、壬生町、野木町、岩舟町）による下都賀地区広域観光開発推進協議会の事業を実施した。

観光キャンペーンへの参加

「やすらぎの栃木路」フェア

- ・実施日 9月25日(火)
- ・場 所 新宿駅西口

4 観光行事推進事業

本市を県内外に宣伝し、産業と観光の振興を図るため、次の行事を実施した。

(1) 第18回藤岡さくらまつり

- ・実施日 4月7日(土)～8日(日)
- ・場 所 藤岡渡良瀬運動公園
- ・主 催 藤岡町観光協会
- ・後 援 栃木市、藤岡町商工会、下野農業協同組合ほか
- ・動員数 16,200人

(2) 渡良瀬バルーンレース2012

- ・実施日 4月6日(金)～8日(日)
- ・場 所 藤岡渡良瀬運動公園
- ・主 催 渡良瀬バルーンレース実行委員会
- ・後 援 栃木市、国土交通省、(財)日本航空協会、栃木県ほか
- ・動員数 108,000人

(3) Eボートレース2012渡良瀬大会

- ・実施日 8月18日(土)
- ・場 所 谷中湖(北ブロック)
- ・主 催 Eボートレース渡良瀬大会実行委員会

- ・後援 国土交通省、小山市、古河市、野木町
 - ・参加者 445人
- (4) わたらせスカイスポーツ体験フェスタ
- ・実施日 10月6日(土)
 - ・場所 スカイフィールドわたらせ(渡良瀬遊水地内)
 - ・主催 栃木市
 - ・協力 渡良瀬遊水地スカイスポーツ協議会
 - ・参加者 11組26名
- (5) 第13回よさこい藤岡パレード
- ・実施日 11月25日(日)
 - ・場所 足利銀行藤岡支店～藤岡小学校校庭
 - ・主催 よさこい藤岡運営委員会
 - ・後援 栃木市、藤岡町商工会、下野農業協同組合、栃木市観光協会ほか
 - ・参加者 697人(60団体)
- (6) 第13回渡良瀬遊水地フォトコンテスト
- ・主催 渡良瀬遊水地フォトコンテスト実行委員会
 - ・協賛 (株)フジカラープロフォトセンターほか
 - ・後援 下野新聞社ほか
 - ・賛助 (社)関東建設弘済会
 - ・応募総数 677点
 - ・入賞作品 最優秀賞1点、ラムサール特選賞1点、優秀賞2点、準優秀賞3点、入選8点、特別賞8点、佳作30点
 - ・展示会場 藤岡スポーツふれあいセンターほか